

# 安心のまち熊本へ

## 医療・福祉

# 医療・福祉 ニューズ KUMAMOTO

### 熊本リハビリテーション病院の5階建て本館が完成

熊本丸田会

社会医療法人社団熊本丸田会（丸田秀一理事長、運営の熊本リハビリテーション病院（菊陽町曲手、古閑博明院長）が建設していた5階建て本館が完成、このほどオープンした。新本館は5階建てで、延べ床面積は約9000㎡。1階は外来診察室、処置室、2階は図書室や200人収容の地域交流ホール、3、4階が回復期リハビリ病棟、5階が亜急性期病床となる。



▲菊陽町に完成した5階建ての本館  
▲1階の開放的な空間に、患者様の立場に立ったより高度な医療に努めますと抱負を述べた。

丸田秀一理事長は「次世代のリハビリテーション医療を提供してまいります」と話している。古閑博明院長は「患者様の立場に立ったより高度な医療に努めますと抱負を述べた。」

### 本館産科棟の病室をリニューアル

慈恵病院

熊本市西区島崎6丁目の(医)聖粒会 慈恵病院（蓮田太二理事長）はこのほど、同院本館産科棟の病室をリニューアルした。

本館産科棟2階の4人部屋だった病室3室を個室（3室）に仕様変更。各部屋に天蓋（てんがい）ベッドや暖炉、シャワールーム、トイレなどを新たに設けた。産科の患者と婦人科で手術後に入室を希望する人が対象で金額は1日1万円。同院は、昨年1月には、本館南側の道向かいに鉄筋コンクリート造り（一部鉄骨造）5階建て、延べ床面積約2723㎡の新産科棟マリア館の運用を開始している。



▲島崎6丁目の慈恵病院本館  
▲天蓋ベッドとシャワールームを備えた個室  
▲部屋でマリア館を臨みながら気持ちよく過ごしたいと話している。

### 出仲間機能訓練専門デイサービス施設

シアーズホーム

熊本市南区馬渡2丁目の(株)シアーズホーム（丸本文紀社長）はこのほど、同区出仲間9丁目に機能訓練専門デイサービス施設「きたえるーむ熊本南」をオープンした。



▲出仲間9丁目にオープンした「きたえるーむ熊本南」  
▲オリジナルのウォーキングシステム「SW」を導入。要支援、要介護認定者を対象とし、定員は10人。

丸本社長は「居住空間の提供という視点から、お客様が何年経っても快適で健全な生活を維持できることを当社がの務めと考えています」と話している。

### 錦ヶ丘のゆうしんビル内に小規模多機能ホーム開設

ゆうしん

健康タクシーなどを運営する麻生グループの(有)ゆうしん（熊本市東区錦ヶ丘、麻生伸一社長）はこのほど、同地のゆうしんビル内に小規模多機能ホーム錦ヶ丘（小規模多機能型居宅介護事業所）を開設した。

場所は通称自衛隊通り沿い、「サンパレス熊本」南側。昨年9月に完成した高齢者向け複合多機能施設「ゆうしんビル」の2階部分に開設した。登録定員は25人で、デイサービスと訪問介護を提供。利用者の宿泊室9室を備えている。床面積は240㎡。また、同施設の3、4階は40床の特定施設シエスタ錦ヶ丘を併設している。



▲錦ヶ丘のゆうしんビル内に開設した「小規模多機能ホーム錦ヶ丘」  
▲最大25人収容可能なデイサービス施設  
▲麻生社長は「当施設は通所を中心に訪問、宿泊の3つのサービス形態が一体になり、24時間切れ間なくサービスを提供できます。高齢者に対してより細やかな生活支援を行ってきたい」と話している。

## シリーズ「コミュニケーション講座」



魅力ある人間力アップに向けて (第11回)

人はひとりでは生きて行けません。さまざまな形で支えあって生きています。それぞれが持つエネルギーを見つめ、見守り、引き出す。コミュニケーションは、人と人をつなぐ原点ともいえます。家庭、職場、近所付き合い、友人との付き合い、その全てがコミュニケーションであり、人生を楽しむこと、エネルギーアップにもつながります。ここではさまざまなコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

### 「恋人同士のコミュニケーション」



コミュニケーションアドバイザー 津川 育子

【今月のテーマ】

親と子。夫と妻。上司と部下。さまざまな関係の中で、最もコミュニケーションでの軋轢が生まれやすい関係が、「恋人同士」なのかもしれません。もちろん、お互いの短所も好きという状態のときには、そんな軋轢なんて考えもしないでしょう。

親と子。夫と妻のように特別な繋がりが存在しているわけでもなく、上司と部下のように義務的な繋がりが必要になってくるわけでもないからこそ、その関係は不確かで、アンバランスです。近頃、この恋愛に関する相談を受けることも多くなってきました。

今回はその一つを紹介してみます。仕事で知り合った女の子から、恋愛相談を受けました。なんでも、恋人が自分以外の女性とメールのやり取りをしたり、ツイッター上で会話をしたりしている。それが我慢できないうことで、今度、あまりにも腹が立ったので、今度、相手の女性に文句を言ってやろうと思っていると、鼻息荒く訴える彼女に、私はストップをかけました。

恋人同士でよくあるやり取りだと思います。自分以外の人間へ向けられる視線の「嫉妬」や「羨望」は、時に二人の絆を、修復不可能なほどにボロボロにしてしまうことともあります。けれど考えて欲しいのは、この場合、「相手の女性に文句を言う」という行為は果たして、本当に大切なことなのでしょうか？

勘違いされやすいのですが、こういう場合のやり取りで一番重要なのは、「恋人が自分以外の女性と接触している」ということへの「自分の気持ち」です。相手の女の人は関係ありません。二人の関係をどうやって、自分はどう思ったのか。まずそれをきちんと把握しましょう。

怒りに身を任せてはいけません。自分がなぜ怒っているのか、それを立ち止まって考えてみましょう。すると、自分の素直な気持ちが見えてくるはず。例えば、「自分以外の女の人とそういう風に接せられる」と、とても不安な気持ちになる。というのが素直な気持ちだったとします。ならば、それをそのまま、相手（彼）に伝えればいいのです。相手（彼）を責めるわけではなく、自分の思いを伝えるために、そうすることで、今までモヤモヤしていた思いを恋人に委ねることができそうです。自分だけの悩みではなく、恋人と悩みを共有することができそうです。そうすれば、「話し合い」ができるようになるのです。互いが納得できる道を探すもよし、譲歩するもよし。もしも、それでも聞く耳を持たず、恋人の不安な気持ちを無視するようならば、貴方には縁のなかつた人なのかもしれません。

恋愛コミュニケーション講座を開催します。詳しくはメールでお問い合わせください。

（筆者プロフィール）「コミュニケーションアドバイザー」卒業後、二子学院、近代経営研究所などの勤務を経て平成10年10月入財育成サポートを設立。22年2月に法人化。子育て、親のコミュニケーションの勉強会、講座を随時開催。熊本県民力レズジ主催講座サテライト教室子育て応援講座などの講師も勤めている。県内各地での講演も多数。美里町教育委員。子どもは3人。著書として「愛の小箱」(夫の闘病と家族模様)がある。

【問い合わせ】  
☎096-342-9733  
ikuko.t@eagle.ocn.ne.jp

**松村 尚美さん(43)**  
歩み法律事務所 弁護士  
(熊本市西区春日4丁目)  
JR熊本駅新幹線口西側に法律事務所を開所。高齢者、障害者問題に力を入れていきたいですね。より良い解決ができるよう常にスキルアップを心掛け、地域に溶け込んだ事務所を目指していきます。

**繁永 進さん(55)**  
エス・ユー・テクノス 社長  
(熊本市中央区南熊本3丁目)  
自動車や半導体関連などの工場設備機器の設計や製作を手掛け、工場の生産効率を上げるためのコンサルティングまで行っています。大手にはできないきめ細かな設計・製作で国内外に販路を拡大したいですね。

**川口 敬さん(34)**  
あすは 社長  
(熊本市東区月出5丁目)  
県道小池電田線沿いに調剤薬局「あすは薬局」をオープン。店舗は気軽に来店できるよう待合室を広く設計しました。将来的にはサプリメントやハーブの販売などを通じて地域に根差した薬局を目指していきたいですね。

**野口 貴史さん(29)**  
アートフル 代表  
(熊本市東区長嶺西1丁目)  
土木・建築など建設関係の仕事を得業分野に総合業務請負業を手掛けています。スタッフのやる気と体力には自信がありますので、今できることを精一杯頑張ること、丁寧な仕事を心掛けています。